



カーボンニュートラル シティ HINO 特集号

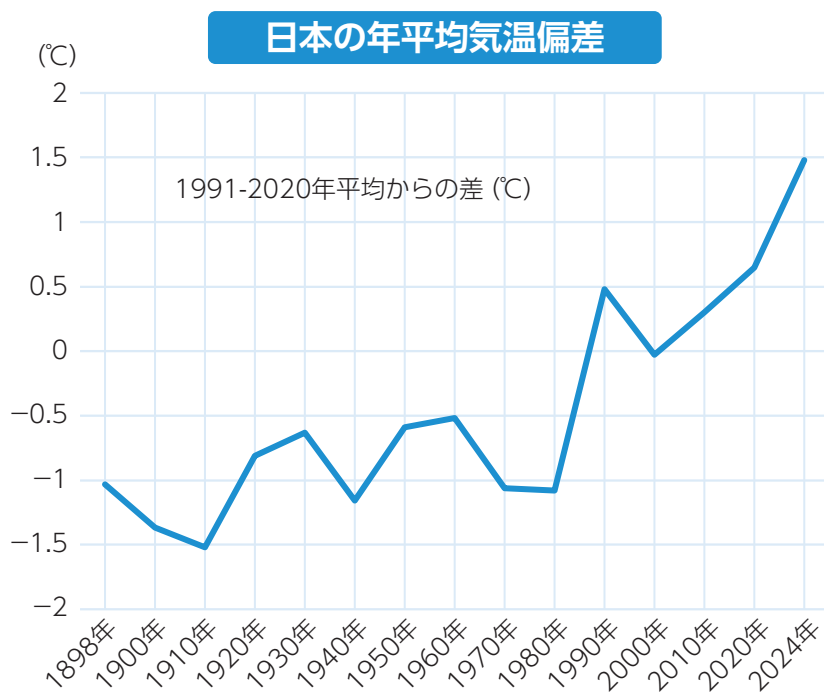
令和7年
10月24日発行
日野市環境政策課



市HP▶

気候変動の影響

2025年の日本の夏は「最も暑い夏」※と気象庁より発表されるほど、ここ数年の猛暑は地球温暖化を身近なものとして痛感させています。この問題の大きな原因として、二酸化炭素(CO₂)に代表される温室効果ガスが増えていることが挙げられます。※1898年統計開始以来の平均気温

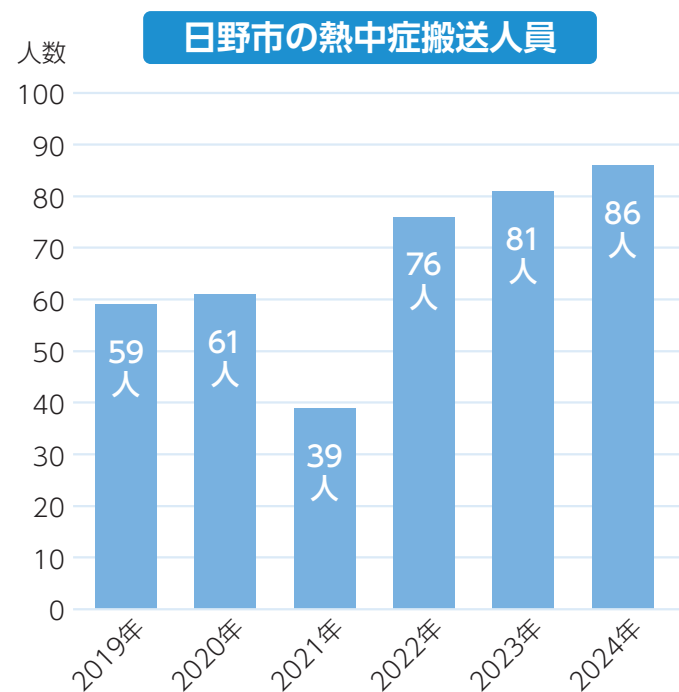


気象庁「日本の年平均気温偏差」より市作成

出典：気象庁▶



地球温暖化は、日野市にも大きな影響を与えています。例えば直近6年間の日野市内の熱中症搬送者数はここ数年増加傾向です。熱中症に限らず、大雨・洪水・土砂災害、高温による食物の生育障害・水不足等、様々な影響が既に発生しています。



東京消防庁「区市町村別 熱中症搬送人員」より市作成

出典：東京消防庁▶



緩和と適応

気候変動対策には、温室効果ガスを減らし気候変動の原因をできるだけ抑える“緩和”と、既に現れている影響に備える“適応”があります。

気候変動の影響を抑えるためには、節電やごみを減らすなどの「緩和」と、熱中症予防などの「適応」の両輪で取り組んでいくことが重要です。

出典：気候変動適応情報プラットフォーム



緩和とは？

原因を少なく

緩和策の例

- 節電・省エネ
- エコカーの普及
- 再生可能エネルギーの活用
- 森林を増やす
- 温室効果ガスを減らす

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

適応とは？

影響に備える

適応策の例

- 感染症予防のため虫刺されに注意
- 熱中症予防
- 災害に備える
- 水利用の工夫
- 高温でも育つ農作物の品種開発や栽培

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

クーリングシェルター

近年の夏は、屋外での活動が危険なレベルの猛暑日が増加しています。

クーリングシェルター(指定暑熱避難施設)は、「熱中症特別警戒アラート」が発令された際に、一時的に暑さをしのげる場所として開放される施設で、発令の有無に関わらず「涼み処」としても利用することができます。

夏の屋外活動では、こまめな水分補給や休憩で涼を取り、熱中症予防を心掛けるようにしましょう。市内のクーリングシェルターの場所など詳細は市HPをご確認ください。



ごみ排出量の少なさが2年続けて全国1位になりました

令和5年度に人口10万人以上50万人未満の市町村の中で、日野市は1人1日当たりのごみ排出量の少なさが2年連続全国1位となりました。

「指定有料ごみ袋の導入」「マイバック運動」「生ごみ減量」「プラスチック類の分別収集」など、様々な減量施策を実施し、現在に至っています。今後も「循環型のごみゼロの社会の実現」に向けて持続的に取り組んでまいります。

		令和5年度	令和4年度
	自治体名	グラム/人日	グラム/人日
1位	東京都 日野市	585.6	600.5
2位	静岡県 掛川市	595.0	614.5
3位	東京都 小金井市	595.2	619.6

日野市HP(ごみ排出量の少なさが2年続けて全国1位になりました)▶

日野市の取り組み

日野市は令和4年11月に、2030年CO₂排出量マイナス46%、2050年CO₂排出量実質ゼロという目標に向けた決意として「日野市気候非常事態宣言」を発出しました。

またCO₂削減目標に向けた地域体制を呼びかけていく施策として、令和5年に「日野市気候市民会議」を実施しています。

会議では、行政や企業・団体、市民がそれぞれの取るべき行動を話し合い、37の提言・390



日野市気候市民会議からの提言
～カーボンニュートラルシティHINOの実現に向けて～



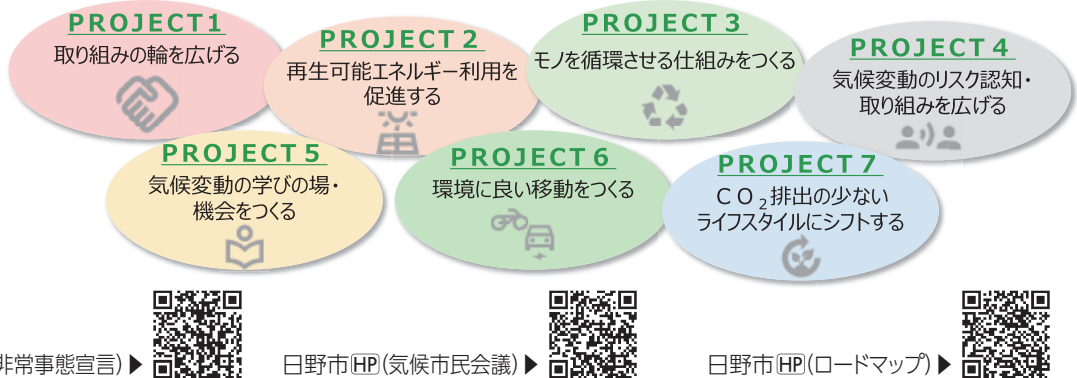
日野市HP(気候非常事態宣言)▶

項目に及び「カーボンニュートラルシティHINOの実現に向けた提言書」を作成しています。この提言を受けて、日野市はどう実行していくかを示す「気候変動対策施策ロードマップ」を令和6年9月に作成しました。

このロードマップに基づき、「気候YOUTH会議」「事業者の再エネ電力導入促進」「公共施設の再エネ電力調達や環境性能向上」「市内涼み処の拡大」「省エネ家電への買換え促進」など様々な施策を検討・実行しています。ロードマップや施策は随時見直しを行っていきます。

詳細は日野市HPをご確認ください。

カーボンニュートラルシティHINOの実現に向けた7つのプロジェクト



日野市HP(気候市民会議)▶

日野市HP(ロードマップ)▶

公共施設で実質再生可能エネルギー100%契約

日野市では、市役所本庁舎や小中学校、市立病院、保育園や学童クラブ、地区センター等の公共施設において、合計266件の契約で実質再生可能エネルギーを導入しています。

一般家庭で再エネ電力へ切り替えた場合、約2tのCO₂削減効果が見込まれます。ぜひ、再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを検討してみてください。

※令和7年度の市公共施設実質再生可能エネルギー導入件数

高圧	47件
低圧・従量電灯	219件
計	266件
1年のCO ₂ 削減	約7,700t-CO ₂

日野市HP(公共施設実質再生可能エネルギー100%契約をしました)▶

Carbon Pool (CP) コンクリートでカーボンニュートラルに向けた実証実験

コンクリートは、1㎡あたり300kg程度のCO₂を排出して出来ていると言われ、地球上の年間CO₂排出量の8%を占めていると言われています。

CPコンクリートは、解体時のコンクリート塊や建設現場で未使用となったコンクリート等にCO₂を固定化させ、打設後の養生時にもCO₂を固定化します。

企業と協働して、「豊田駅南口バスロータリー、駅前広場」と「西平山あそびば」の舗装・ベンチ等にCPコンクリートを施工し、CO₂固定量を評価する実証実験を行います！

*: CPコンクリートは、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)による2030年度までの技術開発支援の公募事業です。



▲万博「未来の都市」パビリオン入口舗装



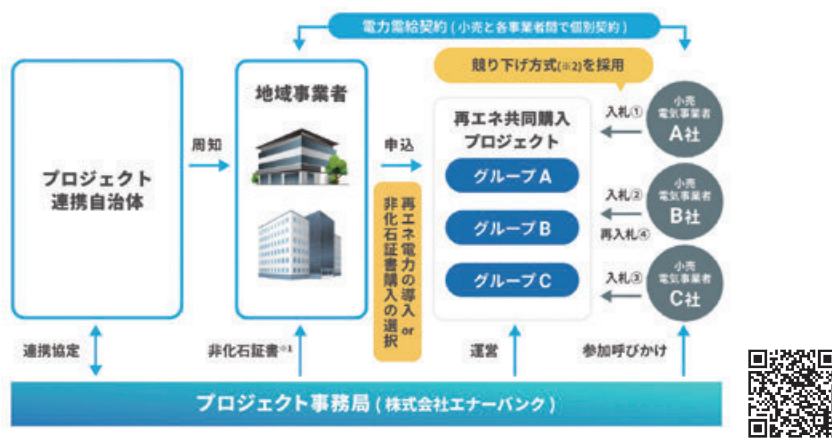
▲万博「未来の都市」パビリオン内コリドール

事業者の再エネ電力導入促進

日野市と株式会社エナードは、令和6年6月26日、再生可能エネルギーの利用促進に関する連携協定を締結しました。

この協定に基づき、市は株式会社エナードが主催する「首都圏再エネ共同購入プロジェクト」への参加事業者を募集しています。

このプロジェクトでは、再エネ電力の利用促進を実施している首都圏の自治体とともに、共同で再エネ電力を購入することで、個別での購入よりも価格を抑制して電力調達することができます。



日野市HP(首都圏再エネ共同購入プロジェクト参加者募集)▲

他にも様々な取り組みを行っています！

・日野市環境フェア(会場：イオンモール多摩平の森)
令和8年2月7日(土)に「CO₂排出の少ないライフスタイルへのシフト～未来を守る選択～」をテーマで開催予定です。

・消費電力の「見える化」機器貸出
家電の消費電力を測定する「ワットモニター」を貸出しています。

・日野市環境白書
日野市の環境施策に関する進捗状況等を毎年まとめています。

・日野市と企業の取り組み
日野市は、気候変動に立ち向かう企業や団体と協定を締結しています。

- ・テラチャージ(株)…EV充電設備の普及
- ・(株)エナード…再生可能エネルギーの利用促進
- ・東京ガス(株)…カーボンニュートラルのまちづくり
- ・多摩動物公園…環境・SDGs
- ・ウォーターランド(株)…プラスチックごみ削減など

▲日野市HP(気候変動対策)

国・東京都の補助メニュー

国や東京都でも、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて地球温暖化対策・気候変動対策のための補助メニューを用意しています。地球温暖化対策のため、ぜひ補助メニューの活用をご検討ください。

家電

東京ゼロエミポイント

設置済みのエアコン・冷蔵庫・給湯機・照明器具を省エネ性能の高い新品の対象家電等を買換えた都民に対して、「東京ゼロエミポイント」を付与する事業です。

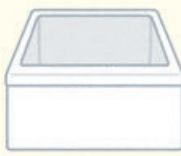
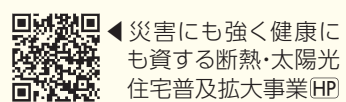
※日野市省エネ家電買換え促進補助金と併用可能です。



太陽光発電設備・蓄電池

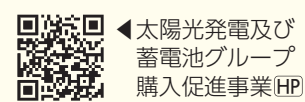
災害にも強く健康にも資する断熱・太陽光住宅普及拡大事業

省エネ性に優れ、災害にも強く、健康にも資する断熱・太陽光住宅の普及拡大を促進するため、高断熱窓・ドアへの改修や、蓄電池、太陽光発電設備等の設置などに対して補助する事業です。



太陽光発電及び蓄電池グループ購入促進事業

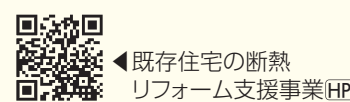
太陽光発電設備や蓄電池の導入に係る都民の負担を軽減するため、東京都と協定を締結する事業者が購入希望者を募集し、共同購入により購入価格のおトクな割引率で購入できる仕組みです。



住宅

既存住宅の断熱リフォーム支援事業

既存住宅において、省CO₂関連投資によるエネルギー消費効率の改善と低炭素化を総合的に促進し、高性能建材を用いた断熱改修を支援する事業です。戸建て住宅の場合、蓄電システム・蓄熱設備・エアコン・EV充電設備なども補助対象になります。



住宅省エネ2025キャンペーン

国土交通省、環境省、経済産業省の3省が連携して、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅省エネ化を支援する4つの補助事業の総称です。



その他にも、様々な補助金を用意されています

東京都地球温暖化防止活動推進センター(クールネット東京)

個人、事業者向けの補助メニューが掲載されている都のサイトです。



脱炭素化事業支援情報サイト(エネ特ポータル)

地球温暖化対策に関する補助メニューが掲載されている環境省のサイトです。



“カーボンニュートラル”に取り組む

日野市省エネ家電買換え促進補助金

家庭における電力消費量のうち、大部分を占めているのは、エアコン・冷蔵庫です。ご家庭の電力とCO₂排出量を減少させ、カーボンニュートラルを推進するため、省エネ性能の高いエアコンと冷蔵庫への買換えを補助します。
※東京ゼロエミポイントと併用可能です。

【応募方法】 ①Web申請：市HPの応募フォーム
②郵送：下記問合せ先まで郵送

【問合せ】 ☎191-8686 日野市神明1-12-1
日野市環境政策課 (042-514-8294)



日野市HP(省エネ家電買換え促進補助金)▲

【補助対象機器】

〈エアコン〉

統一省エネラベル 目標年度2027年度

多段階評点★3.0以上のもの

※冷房能力3.6kw以上のものに限り、統一省エネラベル★2.0以上も可

〈冷蔵庫〉

目標年度2021年度省エネ基準達成率100%以上のもの

【補助額】

機器本体費用(税抜き)の4分の1

上限額20,000円(1,000円未満切り捨て)

【受付期間】

令和7年11月1日(土)～令和8年2月27日(金)

※申請は先着順です。予算額に到達次第、終了となります。

ミニバスの環境啓発デザイン募集

市民の方々に広く、気候変動対策や地球温暖化対策について、幅広い世代の方に環境問題に関心を持っていただけるようなミニバスの環境啓発デザインを募集します！

【募集期間】 令和7年10月15日(水)～11月28日(金)

【応募資格】 市内在住または在勤・在学している16歳以上

【応募方法】 デジタル：市HPの応募フォーム
手書き：郵送・窓口受取

【問合せ】 日野市環境政策課
(042-514-8294)



日野市HP(ミニバス環境啓発デザイン)▲

気候YOUTH会議参加者募集

令和6年度に20代以下の若年層を中心とした、気候変動に対する取り組みについて話し合う「気候YOUTH会議」を開催しました。今年度は、会議で出たクエスト(気候変動対策)をより具体化し、自らが活動することを目指しますので、新しいメンバーも募集します！
詳細は市HPをご覧ください。

【募集期間】 令和7年11月1日(土)～12月12日(金)

【対象】 市内在住または在勤・在学している高校生以上24歳以下

【定員】 5名

【応募方法】 市HPの応募フォーム

【問合せ】 日野市環境政策課 (042-514-8294)



日野市HP(気候YOUTH会議)▲

カーボンニュートラルにつながる暮らし

